

楫

皇招之、因問曰、汝誰也。對曰、臣是國神、名曰珍彥、釣魚於曲浦、聞天神子來、故卽奉迎、又問之曰、汝能爲我導耶。對曰、導之矣、天皇勅授漁人椎。櫓末令執、而奉納於皇舟、以爲海導者、乃特賜名爲椎根津彥。

〔鹿苑院殿嚴島詣記〕廿二日、○康應元年三月卯時に御舟出、あふと、いふせとあり、をび風はげしく、浪高かりしかば、船どものほをおろしてこぎかさねしかば、手ざほどもきびしくとりて、こぎ過たり、

〔新古今和歌集十九神祇〕新宮にまうづとて熊野川にて

太上天皇

熊野川くだすばやせのみなれざほさすがみなれぬ浪の通路

〔新撰字鏡〕舟解也、楫也、加地、

〔倭名類聚抄十一舟具〕楫 釋名云、楫、和音接一音集、使舟捷疾也、兼名苑云、楫、一名櫓、音加遲、一音効反

〔箋注倭名類聚抄三舟具〕按、方言云、楫謂之櫓、兼名苑、蓋本于此。略中 又按、釋名、櫓又謂之楫、楫捷也、撥水使舟捷疾也、方言、楫或謂之櫓、說文、楫、舟櫓也、楫、櫓正字、是櫓、卽上條所載櫓、其加遲、加伊、亦一聲之轉、萬葉集云、可治、云、加伊、其物全同、故或云、真可治之自奴伎、或云、真加伊之自奴伎、可證也、源君分爲二條誤矣、今俗呼加遲者、下條所載多以之、非是物也、

〔千祿字書入聲〕櫓楫、下正通

〔類聚名義抄三手〕楫 フネノカチ 捩 カチ 同木榜 サヲカチ 桀 カチ、フナハタ、 樺 カチ、サヲ、 樺

正 機 カチ、サヲ、 捩木船 ノカチ 捩 カチ

〔伊呂波字類抄雜物〕楫舟 機舟 樺 榍 已上同

〔下學集下財〕機舟 樺

〔易林本節用集加財〕楫

〔倭訓栞前編六〕かぢ、日本紀、倭名鈔に、楫をよめり、續日本紀、文德實錄に、櫓をよみ、舊事記には、楫をよめり、万葉集には、眞楫ともいへり、古へは櫓楫の類は、海川をいはず、皆がちといふと見えた